

1. 評価結果概要表

平成 21年 1月 24日

【評価実施概要】

事業所番号	2070200817		
法人名	有限会社創生活環境運営		
事業所名	ひだまりの里 さが		
所在地	松本市笹賀2517-3 (電話) 0263-85-7114		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成21年1月10日	評価確定日	平成21年2月18日

【情報提供票より】( 20年 11月 1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 6月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤9人	非常勤10人 常勤換算13.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	2 階建ての	1, 2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷 金	有( 225000円)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,350 円

(4) 利用者の概要 ( 11月 1日 現在)

利用者人数	17 名	男性 2 名	女性 15 名
要介護1	2名	要介護2	1名
要介護3	8名	要介護4	2名
要介護5	4名	要支援2	
年齢	平均 85.8 歳	最低 73 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 聖会 大池内科クリニック 高林歯科医院 野中眼科医院
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームの周辺には、施設の1辺が主要道路に面しているものぶどう畑や民家が広がり、又近くに飛行場はじめドームや緑の公園が多くあり、日常的に散歩やお花見等最適地です。「共助の精神」のもと支えあい、地域で共に暮らす理念で、地道に地域の町会、福祉ひろば、中学校等とのオープンな交流をもたれ、入居者は明るくゆったりと落ち着いた自然体の生活を感じることが出来た。これも地域の中でふれあえる環境と日常の職員の献身的な取り組みの成果と思われます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	新任・現任共に、計画的な研修のほか毎月の会議や日常のカンファレンス等で職員の育成・理念の共有と実践に取り組んでいる。地域の福祉ひろばや、中学校、短大等の行事に利用者、職員共に積極的に参加し交流が図られホームへの理解が得られている。重度化への取り組み(見取り4件)を積極的に実践し、教訓を引き出し今後へ活かしている。ケア計画の基本となるアセスメントはセンター方式を導入し、工夫してこだわって活用している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価及び外部評価の意義や目的を理解され、全職員で評価に取り組まれている。外部評価の結果を職員会議の中で話し合わせ、業務改善・サービスの質の向上に努められている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、入居者を除く幅広い参加者で構成され、会議の意義や役割を説明して積極的に関わって頂いている。入居者の様子をお知らせすると共にその都度テーマ(施設の行事や防災等)に沿って、話し合いがもたれている。警察の方には、入居者の暮らしぶりを見ていただき離設時の対応などを一緒に考えることが出来た。他会議外での地域交流も進んでいる。(地区町会への出前講座や中学校・短大等の交流等)
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族には定期的にお便り及び電話により連絡を取っている。又、施設内には行事等に撮った写真などを掲示し、来所時に暮らしぶりや表情を確認してもらって話を聞いて相談に乗っている。家族会も年4回開催しており、最近では管理者へメールによる意見・苦情等言いやし環境づくりにとりくまれている。家族からは高い評価と感謝が寄せられている。相談では状態悪化時の相談があり、気持ちに沿うようにしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	笹賀地区ひろば、町会、中学校、短大、ご近所と広く交流・連携が積極的に取り組まれている。

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>1. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	共助の精神をもとに、支えあい、共に暮らすの理念で地域・家族・職員が連携し、利用者の生活環境の向上を目指して実践されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の理解・共有の為、毎月の職員会議や社内研修、カンファレンス、日々の業務日誌の中で周知や啓発を行っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町会・笹賀地区福祉ひろば・中学校・短大等広く行事参加や交流をもたれている。(地域の方の自由な出入り、地域の防災訓練に参加、ひろばの健康教室や歌の会、中学校の福祉活動への協力、短大ボラの文化祭参加、介護の集い参加、町会へ車椅子の使い方講習等)		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者・管理者・職員共に評価の意義の理解と活用について確認し、自己評価での気づきや外部評価の結果を受け止めて業務改善に取り組んでいる。		

グループホームひだまりの里さが

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>行事や防災のことをテーマに定期的開催され、参加者も幅広く多様である。</p>		<p>会議参加へ利用者の方も加わっていただき、気持ちや意見の表出に努められることと、地域との防災協定を結ばれることを希望します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>グループホーム施設長会へ市も参加して定期的開催されているのでこの場を活用している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、家族の方へお便りで(時には、写真を加えて)利用者の様子を伝えている。又、急ぎの場合等、電話や手紙で随時対応されている。ホーム内にも写真を掲示して来所者へ暮らしぶりがわかるように実践されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談窓口を設けているが、苦情は無い、相談では利用者の方が重度化した場合の対応についてのものが寄せられている。他家族会から要望の汲み取りに努めている。又、市からの介護相談派遣員の定期訪問、認知症の人と家族の会に参加している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動等はあったが、利用者の状況に合わせて対応している。あえて話さないで、聞かれたり、理解できる方へは話している。市内の事業所間交流で人の動きを作っているのが好影響していると思われる。</p>		<p>異動等発生した場合には、家族の方へは発生の都度報告されることを望みます。</p>

グループホームひだまりの里さが

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>在籍や経験年数(1年目・2年目・リーダー等)を考慮し、研修計画と実践がなされている。また、自己啓発カードも使用し各人も主体的にスキルアップへ参加している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>松本圏域グループホーム連絡会(2ヶ月に1回開催)において運営や職員の資質向上に取り組んでいる。(相互評価や交換研修の実施)</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者の状況を配慮しつつ(個別性の尊重)、利用者への説明や、ホームでの短時間体験利用で納得やスムーズな利用へ繋げるように工夫されている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者と生活を共にするというケア方針のもと、利用者から学んでいる。(具体的には、もちつきに習慣に違い、野沢菜漬けの工夫、おやき作り、雑煮の違い、気遣いの視点... 1人暮らしから大家族へ)</p>		

グループホームひだまりの里さが

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の何気ないつぶやきや会話、表情・行動等から真意を汲み取るように努力し、職員間で情報交換を行っている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式のアセスメントシートを使用し、利用者・家族・ケア関係者からさまざまな情報・ケアのアイデア等を集めて毎月のカンファレンスで検討し計画を作成されている。特に家族の声を聴く手段として管理者とのEメールが活用されつつある。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的(6ヶ月ごと)に、スタッフ全員でアセスメントを工夫し、又利用者の変化に応じて計画の見直しがされている。</p>		<p>見直しの期間については、変化が生じなくても、3ヶ月ごととされ、記録の負担等軽減する工夫を期待します。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族等の状況の変化に合わせて、歯科受診や眼科受診等受診介助、お墓参り、買い物、理美容等、丁寧に対応されている。</p>		

グループホームひだまりの里さが

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者・家族の希望を踏まえて支援されている。受診結果等については、お便りで報告されている。必要によっては家族の受診同行をお願いしている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>施設での見取りを重要視し、積極的に取り組まれている。状態の変化に応じ、早期から医師、家族、スタッフ等の関係者のカンファレンスを行い、対応の共有が図られている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の尊厳を大切に、プライバシーや個人情報保護については日常の中の、事例も取り入れながら研修し、意識の向上を図っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>「その人らしい暮らしって？」自問自答し、利用者の生活歴(人生・価値観等)を大切に、希望や日々の変化に沿うよう心がけている。</p>		

グループホームひだまりの里さが

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に食材の買い物・調理・片付け等個々の特性に合わせて協力し、明るく楽しい雰囲気が出た。バランス・味付けも高齢者向けで工夫されていた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の状態(重度等)によっては、職員の都合による対応もあるが、最大限利用者の希望やニーズに沿うようにし、入浴が楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の希望や生活歴の中から見えてくるもの等を配慮し、画一的にならないよう、買い物・外食・花見・礼拝等への支援や日常の家事や庭仕事等の参加により個人の力を活かした役割が持てるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やドライブ・喫茶等希望に沿って支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施設の玄関前(門)が主要道路に面しているため、門のみ施錠しているが、他は開放している。必要最低限であっても施錠しない安全確保を願っている。		

グループホームひだまりの里さが

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>施設の防災計画に沿って定期的な訓練は、行われており、地区町会の防災訓練にも参加している。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分摂取の状況を把握し、必要時適切な支援を行っている。</p>		<p>栄養バランスを考えた取り組みがなされています。今後行政の栄養士さんと連携し、カロリー計算をしてもらい、客観的なデータから学び取ることも推奨します。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間は、明るく清潔で落ちつた雰囲気である。玄関先には、ウサギを飼っており、利用者に可愛がられている。季節の草花を飾ったり、利用者の写真や創作物を飾り、季節感・居心地の良さを生んでいる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の意向を尊重されて、家族と共に居室環境づくりをされている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。